

# ハート ええじゃないか 友の会

名古屋ハートセンター開院記念 特別編集号



2008年10月、循環器専門病院として  
名古屋ハートセンターが開院します。

名古屋ハートセンターの設立の理念は、患者様サイドに立った医療の実践です。

最先端医療の実践における技術力でなく、

「やさしいまごころのある医療の実現」を目指しています。

NAGOYA HEART CENTER



# 名古屋ハートセンター 開院記念

名古屋ハートセンター院長

外山淳治 インタビュー

と やま じゅん じ

◎ インタビュアー ◎ ハートええじゃないか友の会会長

作家 宗田理

そう だ おさむ

2008年10月、  
名古屋市東区に  
名古屋ハートセンターが  
誕生します。  
院長に就任する外山淳治氏に、  
ハートええじゃないか友の会  
(豊橋ハートセンター患者の会)  
会長で作家の宗田理氏が、  
名古屋ハートセンター  
開院にあたっての理念、  
想い等々について伺いました。



## 世界最高の心臓治療を目指して

宗田「まず始めに、名古屋ハートセンターの理念を聞かせてください」

外山「世界最高水準の心臓治療を名古屋の地でも提供したいとの豊橋ハートセンター鈴木孝彦院長の熱意の下に、豊橋ハートセンターの精鋭を集めて24時間365日、休みなく心臓救急体制を整え、高度・安心、しかも安価な診療により患者様にご満足いただける病院を目指します」

宗田「医療スタッフのことを教えてください」

外山「豊橋ハートセンターで5年間腕を磨いていた松原徹夫が循環器内科で、元京都大学心臓血管外科教授の米田正始が心臓血管外科で、それぞれ副院長として活躍します。それぞれの分野で、世界レベルの医療技術を携えた、非常に優秀なスタッフです」

## 名古屋ハートセンターの構造と特徴

宗田「では次に、名古屋ハートセンターの院内がどのような構造になっているのか教えてください」

外山「名古屋ハートセンターは5階建てで、まず、1階入り口には2階まで吹き抜けになっている半径12m程の小広場があります。20〜30人程度収容できますので、50インチの大型テレビを設置したセミパブリックな場所として、豊橋ハートセンターで行っているようなミニ講座の開催や、最新の医療情報などを、患者様に対して随時公開していこうと考えています」

宗田「患者としても知りたい情報を手軽に入手出来るのは、とてもありがたい感じますね」



外山「2階はホール、食堂、診察室、

3階にカテーテル室が4部屋、心臓手術室(救急が主)が2部屋あります。4階と5階は病室となっております」

宗田「では、名古屋ハートセンターの特徴、セールスポイントなどを教えてください」

外山「第一に、高度の心臓カテーテル治療と心臓手術を24時間体制で行える心臓救急に特化した機能を持っている点であり、患者様にも、また患者様をご紹介いただいた先生方にもご安心いただける点です。第二に、医療連携を重視して当センターで心臓救急医療を行った後は、なるべく早期に提携先の先生方に患者様を紹介させていただくよう努めることによる優しい医療を目指している点です。第三に、最新のCT装置を備えてカテーテルを用いず冠動脈造影診断を簡単に行って心臓病のスクリーニングができる点です。そして最後に、ハートええじゃないか友の会で行われているハートサロンのように、社会貢献の一端を担えるような活動にも力を入れていきたいと思っています」



## 医療は究極のサービス産業

宗田「先ほど医師や医療スタッフ、並びに医療に関する情報を患者に対して積極的に公開していく、とおっしゃっていました。それはどうしてですか?」

外山「私は昔から医療は究極のサービス産業だ、と思っています。患者様は、医師やスタッフが一体どのような人間なのかを知りたいと思っています。自らの命を預けるわけですから、当たり前な心持だと思います。医療はサービス。提供する商品は何か、といえ、それは教育を施された良質のスタッフ、となるわけです」

宗田「病院もデパートのようなサービス性が必要だとは常々思っていました。優しい看護師さんがいると心も和みますしね(笑)」

外山「医師を始め病院スタッフには自らの情報を公開する事を義務付けています。人生設計から始まり、手術件数、成功率など、患者様が知りたいと思うような情報を積極的に公開する。そうすることによって、自らを戒め、自らを高め、なによりも患者様とのより深い信頼関係を築く事が可能となります。名古屋ハートセンター病院案内パンフレットには各医師の履歴と人生設計の詳細が掲載されていますので、よろしかったら一度目を通してみてください」

## 究極のチーム医療とは

宗田「では組織運営について、特に力を入れていることなどはありますか?」

外山「名古屋ハートセンターのために一生懸命働いているスタッフが、互いに『ご苦労さま』と感謝の気持ちを伝えることで、組織に仲間意識が育まれます。これは、組織の上位にある者ほど心がける必要があります。医療は、医師とその周囲を固める医療スタッフで成り立っています。軍隊に例えると、医師は敵(この場合は病巣)をピンポイントで打ち抜くパイロット。しかしながら、その敵を攻撃した後処理や、復興を担う兵士がいなければ、作戦は完遂しません。裏方的な作業に献身的に従事してくれるスタッフがいて、始めて良質の医療行為が行えるのです。いかに結束力の強いチームをつくれるか。これによって、良質の医療を患者様にご提供出来るか否かが決まります。私はその指揮官として非常に重大な責任を負う点でもあります」

宗田「チーム一丸となって、この名古屋の地に素晴らしい病院を作り上げていかれることを大いに期待しています。本日はありがとうございました」

外山「ありがとうございました」



## 院長 外山淳治 とやま じゅんじ

**主な履歴** 名古屋大学大学院医学研究科博士課程(第一内科)終了(昭和42年)  
 名古屋大学病院 ベースメーカー・EPS臨床立ち上げ展開(～昭和48年)  
 第59回日本循環器学会会長(平成8年4月、名古屋で学術集会開催)  
 名古屋大学環境医学研究所 抗不整脈の基礎・臨床研究(～平成10年)  
 愛知県立尾張病院院長 循環器センターに特化し経営改善(～平成10年)  
 豊橋ハートセンター総長 民間病院の経営を学ぶ(平成16年)  
 愛知県病院事業庁初代庁長 県立5病院の経営管理(～平成20年)

**人生設計** 「仕事に遊びに」命を賭けて頑張りたい  
 「仕事に貴賤をつけず」自分で出来ることは何でもしたい(病院のトイレの改修から人事管理まで)  
 「生涯現役」を目指し自立寿命を1年で伸ばしたい



## 副院長 松原徹夫 まつばら てつお [循環器内科]

**主な履歴** 東海大学医学部医学科卒業(昭和59年)  
 県立岐阜病院 研修医(昭和60年)  
 県立岐阜病院 救命救急研修医(昭和62年)  
 県立岐阜病院 循環器科医師(昭和63年)  
 県立岐阜病院 循環器科・救急センター一部医長(平成4年)  
 名古屋共立病院循環器センター 循環器科部長(平成13年)  
 豊橋ハートセンター 循環器科部長(平成16年)

**人生設計** 生まれ故郷の名古屋の地において、24時間365日安心した生活をサポートすべく、  
 最高の技術とともに、医師本位に偏らない患者様本位の心温まる医療を提供する  
 ために生涯を捧げます



## 副院長 米田正始 こめだ まさし [心臓血管外科]

**主な履歴** 京都大学医学部医学科専門課程卒業(昭和56年)  
 財団法人天理よろづ相談所病院 研修医(昭和56年)  
 財団法人天理よろづ相談所病院 心臓血管外科上級研修医(昭和58年)  
 財団法人天理よろづ相談所病院 心臓血管外科医員(昭和62年)  
 トロント大学トロント西病院 心臓血管外科上級医員(昭和62年)  
 トロント大学トロント総合病院 心臓外科上級医員(平成2年)  
 スタンフォード大学医学部メディカルセンター 上級研究員(平成5年)  
 メルボルン大学医学部 主任外科医(staff surgeon)助教授(平成8年)  
 京都大学医学部 心臓血管外科教授(平成10年)  
 豊橋ハートセンター・大和成和病院 心臓血管外科スーパーバイザー(平成19年)

**人生設計** 患者様を治すプロとして人生を完成させたい  
 夢を共有する仲間達と苦勞を共に楽しみたい  
 臨床医として欧米やアジアの仲間達とも一緒に完走したい

### 名古屋ハートセンター概要

- ◆ 診療科目 循環器科 / 心臓血管外科 / 内科  
24時間救急救命体制
- ◆ 病床数 64床
- ◆ 受付時間 平日 / 8時30分～12時  
16時～18時  
土曜日 / 8時30分～12時  
\*一部予約制
- ◆ 休診日 土曜日午後・日曜日・祝日・年末年始
- ◆ 所在地 〒461-0045  
名古屋市中区砂田橋 1丁目104  
Tel. 052-717-0810  
Fax. 052-719-0811
- ◆ E-mail nagoya@heart-center.or.jp

### 交通案内

JR・名鉄・地下鉄各線より、地下鉄名城線へ乗り換え。  
 「砂田橋」駅から徒歩1分。

